

こども園関係者評価委員会 会議録

日時 令和7年7月16日(水) 午後1時半～

教育保育の取り組みについて ※資料参照

評価委員と園との意見交換

① 園での取り組みを聞いて

- ・3歳児以上になると園での様子を先生があまり話してくれないという保護者がいますが、家庭でも園でも、とにかく子どもに関わることが大事。園での関わりが伝わると保護者の表情がよくなってきます。(評議員・こども園)
- ・この園の子どもは幸せです。なぜなら、ここは子どもの気づきを引き出す園だからです。子どもたちの興味関心に寄り添いながら想像力や気づく力を育て、子どもたちの芽をつぶさないように、家庭でも子どもの“なんで？”に耳を傾けてもらえたらいいなと思います。(町内会長)
- ・保育参観の時に園庭に植えてある花を摘んで色水を作っている様子を見て、はじめは衝撃的でした。園で自由な発想で遊ばせてもらっている姿を見てありがたいと感じています。家庭でもなるべく芽をつぶさないようにしたいなと思います。(保護者)
- ・家庭では、はさみやのりを使うことを制限してしまうので、子どもの話を聞いて“いいよ”と言ってあげたいと思います。(保護者)
- ・子どもたちは失敗したり、予測通りにいかないことがあっても自分たちで試行錯誤したり、主体的に遊びを生み出しています。今、この時期でないと体験できないことがたくさんあるので、子どもたちとのびのびと遊ぶ中で、様々な経験ができるようにしています。(こども園)
- ・今、保育教諭が悩んでいることは何ですか。(評議員)
→日々の保育で保育教諭も見通しが持てたり、ゴールが見えたら保育に余裕が持てると思うのですが、はっきりした答えがある訳ではないので、今の取り組みでいいのか悩んでいます。
→子どもたちが「やってみよう」と願いをもって遊び込む中で、失敗こそたくさんの学びがあり、大切な経験になっていると思います。子どもたちと一緒に「願い」の実現に向けて、いろいろと試行錯誤する中で上手くいかず保育教諭も悩むことが多くあります。(こども園)
- ・できることとできないことがあります。視点を変え、なるべく子どもに「言わせる」「させる」ことの経験の積み重ねが大事だと思います。とにかく、この園は子どもに“させる”ところが凄いなと思います。(評議員)
- ・指導者にどれだけ引き出しがあるか、引き出しが多いほど、子どもの伸びしろが大きくなります。保育教諭が悩めば悩むほど子どもが育つと思います。(町内会長)
- ・子どもが自由に育つのは園が一番です。園で、子どもたちが笑顔でいろいろなことが経験できるのがいいと思います。(第三者委員)

② 小学校との接続連携について

- ・保幼小連携が充実してきていると感じています。小学校に上がって園での取り組みをつぶさず、さらに質が上がるように関わっています。(先生が先に答えを言わないように…)
今年度は入学して2週間程、6年生が1年生と一緒に、登校して荷物を置いたら自由に遊ぶ時間を作るなど、できるだけスムーズに過ごせるように工夫しています。また、今年度も小学校の全職員が3つの園で保育体験を予定しています。素直でのびのびと意欲的な活動をしていきたいと思っています。(小学校)
- ・小学校の公開授業で卒園した子どもたちの姿を見る中で、どのような力を育ていけばよいか、園でも会議等で話し合い、日々、教育保育しています。(こども園)
- ・スタートカリキュラムが変更されましたが、我が園の取り組みは間違っていなかったと思っています。今年度も小学校との接続連携をしていく中で、子どもたちが安心して就学できるようにしていきたいと思っています。(こども園)

次回 令和8年2月頃予定